

# 仙北市総合計画

## 概要版



総合計画は、合併協議により策定された「新市建設計画」の基本理念を継承しつつ、市のめざすべき将来像を明らかにし、それを実現するために、より発展的、具体的なまちづくりの方針を定めたもので、市議会をはじめ、市民の皆様からのご意見やアンケート調査の結果、地域審議会の答申などを踏まえ策定しました。

計画は、18年度から27年度までの計画期間10年の仙北市の将来像等を定めた「基本構想」及び施策の基本方向等を定めた「基本計画」と3年の計画期間で毎年度見直しを行い、具体的な事業内容を表している「実施計画」の3部門で構成されています。

この概要版は、まちづくりのもっとも基本的な指針となる基本構想を中心にまとめたものです。

平成18年12月



秋田県 仙北市

# 仙北市の将来像

## ～観光産業を活かした北東北の交流拠点都市をめざして～

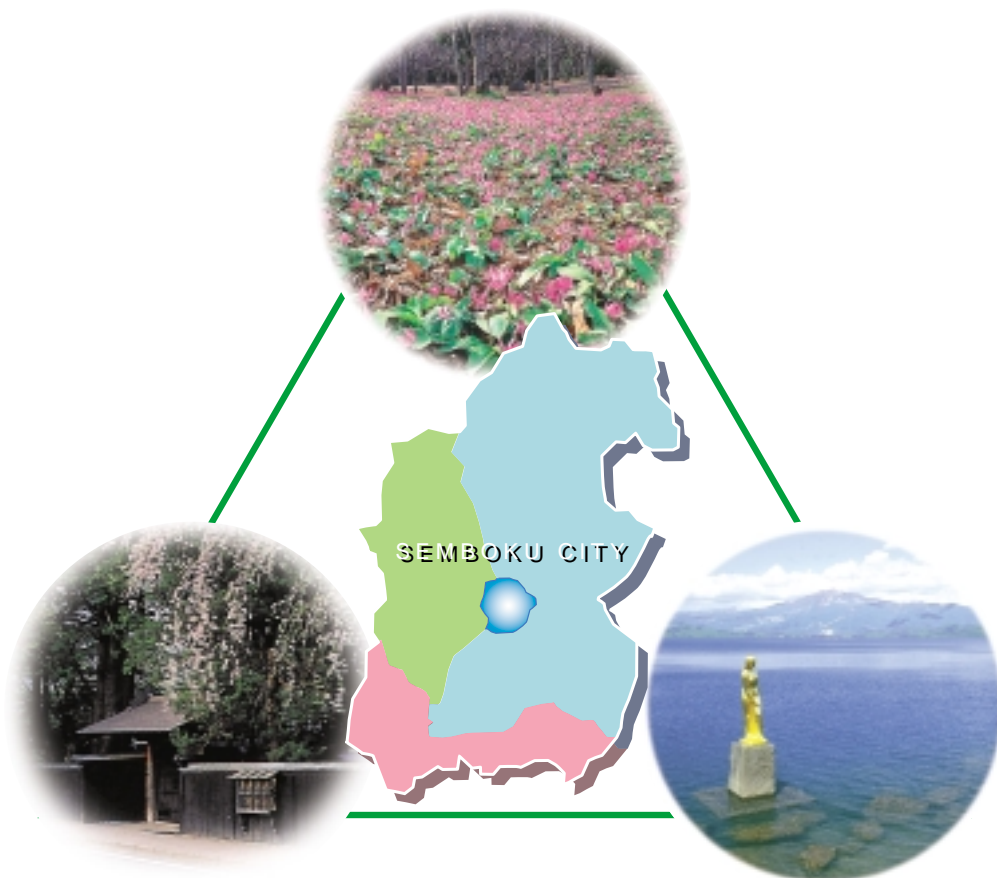
本市は、北東北3県のほぼ中央に位置し、3県の県庁所在地である秋田市、盛岡市、青森市が形作るトライアングルの軸上に位置しています。

この軸上の都市は、人・もの・情報の活発な交流と連携が促進される地域連携軸を形成しており、本市も秋田市や盛岡市、宮古市と並ぶ拠点となる地域として位置づけられます。

そして、日本一の水深を誇る田沢湖、全国的に有名な温泉・秘湯の数々、いにしへの面影を今に伝える武家屋敷の町並み、「紙風船上げ」や「火振りかまくら」に代表される多彩な小正月行事など、観光客を引き付ける資源の豊富さは、他に類を見ません。

また、交通アクセスの面でも極めて優位な位置にあり、角館駅と田沢湖駅という秋田新幹線の二つの駅があり、東京からの所要時間は約3時間、仙台市からは1時間強という短時間でアクセスすることができるほか、秋田空港から約1時間、東北自動車道にも約1時間の距離にあり、花巻空港や大館能代空港、秋田自動車道にも比較的短時間でアクセスできるなど、秋田の玄関口にとどまることなく、北東北の玄関口となることも可能な立地条件を備えています。

こうした数々の優れた資源と恵まれた立地を活かすとともに、観光産業を農林業や商工業と並んだ大きな軸として捉え、それぞれの産業の有機的な連携を図り、ここに暮らす人々とここを訪れる人々がお互いの交流を深め、心身を癒すことのできる「まち」をめざし、本市の将来像を「観光産業を活かした北東北の交流拠点都市をめざして」とするものです。



# まちづくりの基本理念

## 次の4つの考え方を基本としてまちづくりを進めます

### ● 観光産業を活かしたまちづくり

仙北市は、豊富な観光資源と恵まれた自然景観にあふれたまちです。観光産業と特色のある農林業や多様な商工業の連携により、1千万人の観光客（「テンミリオン計画」）が訪れるまちをめざします。

### ● 歴史と文化が息づくまちづくり

仙北市は、城下町として栄えた角館地区を中心に、武家屋敷をはじめとする歴史的遺産や文化財に恵まれたまちです。先人が残してきた歴史と伝統を大切にし、後世に伝えるまちをめざします。

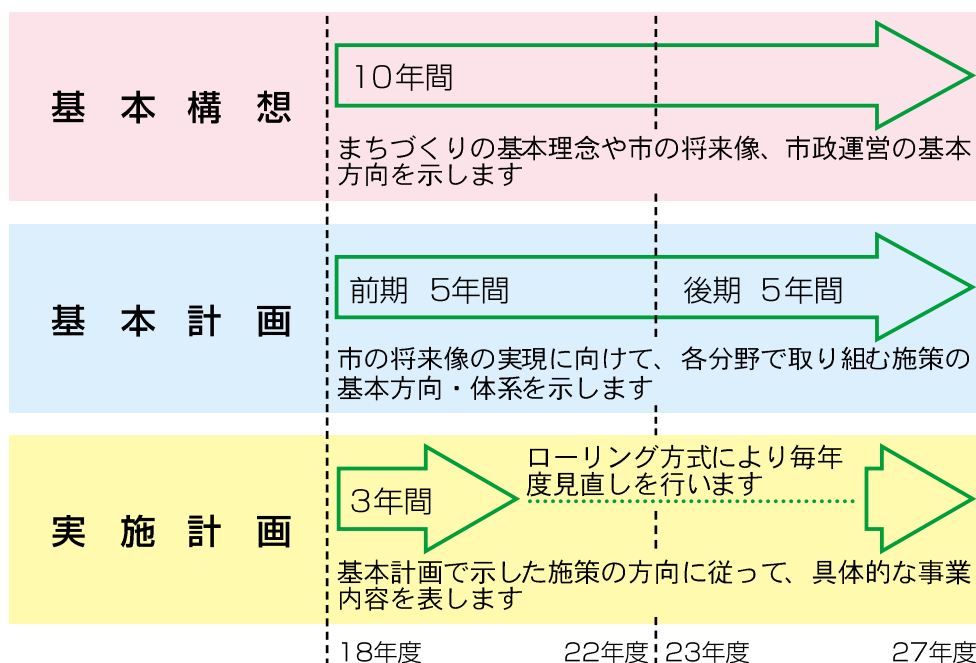
### ● ふるさとを愛し誇れる人づくり

仙北市は、長い年月を経て培われてきたふるさとを誇りに思うことのできるまちです。そして地域を守り、さらに発展させていくために、ふるさとを愛する人づくり、ふるさとを誇れる人づくりに努めます。

### ● 誰もが安心して暮らせるまちづくり

仙北市は、自分たちの住む地域とそこに暮らす人々を大切にするまちです。福祉・医療体制の充実を図るとともに、生活基盤や防犯・防災体制を整備し、誰もが安心して暮らせるまちをめざします。

## 総合計画の構成と期間



## まちづくりの施策「6つの柱」と「3つの重点プロジェクト」

市がめざす将来像を実現するため、行政全般にわたる施策を6分野に分けて取り組みます。3つの主要課題については、重点プロジェクトとして位置付け、強力に施策を展開します。

### 施策の基本となる6つの柱

#### 1 「歴史と自然が織り成す交流拠点のまち」をめざします

仙北市は、武家屋敷に代表される歴史と文化の薫り高い角館地区、水深日本一の田沢湖や秋田駒ヶ岳に代表される自然景観に恵まれた田沢湖地区、そして、田園風景や森林を活用した都市と農村の交流が盛んな西木地区など、内外に誇れる豊富な資源にあふれています。

こうしたあらゆる資源を見つめなおし、さらに貴重な財産として活かしていくために、グリーンツーリズムやエコツーリズムの推進を大きな柱として、この土地で出会う人々が、自然環境や歴史文化を通じてゆっくりと過ごすことができる交流拠点のまちをめざします。

- ・観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし
- ・公共交通の利便性の充実
- ・景観の整備と保全の推進
- ・定住対策の推進
- ・国道や県道、生活道路の整備
- ・環境保護の推進
- ・グリーンツーリズムやエコツーリズムの推進
- ・国際交流、国内交流の推進

#### 2 「すべての生命を慈しむ健康福祉のまち」をめざします

市民すべてが健康で生きがいを持って暮らせるために、保健・医療や福祉の充実を進めると同時に、市民一人ひとりが健康づくりや地域の福祉活動、子育て環境づくりなどに主体的に取り組む体制づくりを進めます。

また、市民と地域、そして行政が一体となって、障害のある人もそうでない人も、そして、お年寄りや社会的にハンディのある人も、共に生き生きと暮らせる環境づくりに努め、地域の力で困っている人に手を差し伸べることができる健康福祉のまちをめざします。

- ・健康づくりの推進と病気予防体制の充実
- ・地域医療、救急医療体制の整備
- ・高齢者福祉と介護保険事業の充実
- ・社会保障（国民健康保険、国民年金、公的扶助）の充実
- ・母子保健の充実
- ・子育て支援と保育体制の充実
- ・障害者福祉の充実と社会参加の促進

#### 3 「特色ある資源を活かした産業創造のまち」をめざします

それぞれの地域の持つ固有の資源に着目し、観光産業と農林業、そして商工業の有機的な連携の中で、産業振興に努め地域の活性化を図っていきます。

農林業においては、生産基盤の整備と担い手の育成に努めつつ、付加価値の高い農林産物の生産や地産地消の推進に取り組みます。商工業においては、魅力ある商店街の形成や企業誘致による雇用の創出に取り組むほか、伝統的工芸品の振興や特産品の開発等を進め、本市の特色を最大限に活かした産業創造のまちをめざします。

- ・観光産業と他産業の連携強化
- ・森林の整備と林業の振興
- ・物産の開発と販売の促進
- ・雇用環境の整備
- ・特色ある農業の振興
- ・活力ある商業の振興
- ・企業の育成と企業誘致の促進

#### 4 [安心・安全で潤いのある生活環境のまち] をめざします

市民が安心して快適に暮らせるまちづくりは、市民生活の基本的な条件です。このため、道路網や上下水道の整備、あるいは公園や住環境の整備を計画的に推進します。

また、リサイクルや省資源対策等、地球環境にやさしい社会づくりを進めるとともに、安全な市民生活を確保するために、消防・防災体制の充実に努め、災害への備えが万全なまちづくりを進めるなど、潤いのある生活環境のまちをめざします。

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| ・ 水道の安定供給と施設の整備       | ・ 下水道の整備と水洗化の普及   |
| ・ 住宅団地、市営住宅の整備        | ・ 公園や緑地の整備        |
| ・ 廃棄物の適正処理とリサイクル活動の推進 | ・ 都市計画や適正な土地利用の推進 |
| ・ 消防体制の充実と消防団の育成強化    | ・ 自然災害等への防災体制の整備  |
| ・ 交通安全の推進と交通環境の整備     | ・ 防犯体制の強化と啓発活動の推進 |

#### 5 [明日を担う人材を育む教育文化のまち] をめざします

すべての市民が豊かな歴史的遺産や貴重な文化財、あるいは恵まれた教育環境の中で生き生きと学びあい心豊かな人間を育むまちづくりを進めます。

また、国際交流や地域間交流を積極的に進めるとともに、合わせて伝統文化の保存継承に努め、市民自らが文化を創り育てていくという市民意識の醸成と仙北市の未来を担う子供たちがふるさとに誇りを持つことができる教育文化のまちをめざします。

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| ・ 幼児教育の充実と教育環境の整備   | ・ 学校教育の充実と教育環境の整備     |
| ・ 生涯学習の推進と社会教育施設の整備 | ・ スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備 |
| ・ 芸術文化活動の振興と文化財の保護  |                       |

#### 6 [共に参加し行動する市民協働のまち] をめざします

地方分権が進む中で、多様化する行政需要に対応するには、これまでの行政主導型の市政運営では限界があり、これからは市民主導のまちづくりが求められています。

このため、それぞれの地域で活動する団体やNPO法人が活発な活動を展開できるように環境整備を進める一方、電子媒体を活用した情報公開の推進、パブリックコメント制度の導入や各種委員会の公募委員枠の拡充等により、市民の声を施策に活かすとともに、併せて男女共同参画の推進や地域間交流の促進等により、多くの市民がまちづくりに参画できるシステムを構築し、市民協働のまちをめざします。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ・ 市民参画と協働のまちづくり | ・ インターネット等の情報通信基盤の整備 |
| ・ 地域づくり活動の推進    | ・ 男女共同参画型社会の実現       |



## 3つの重点プロジェクト

### 1 定住対策プロジェクト

少子高齢化と人口減少が進む中で、定住人口の確保を図ります。

- **若者やUターン希望者の受け入れ体制の強化**  
雇用環境の整備や企業誘致の促進、求人求職情報の迅速な提供等、雇用の場の確保に努めます。
- **子供を生み育てる環境の整備**  
子育て支援や保育体制の充実、地域医療ネットワークの確立に努めます。
- **団塊の世代の受け入れ**  
受け入れ体制の整備など具体的な検討を行います。

### 2 テンミリオン計画プロジェクト

交流人口1千万人を目標に、交流人口の拡大を図ります。

- **観光客数の拡大**  
観光誘客体制の整備や観光資源の掘り起こしに努めます。
- **交通体系の整備**  
観光拠点を結ぶ道路網の整備や二次アクセス等の公共交通の利便性の充実に努めます。
- **自然環境や観光資源の活用**  
グリーンツーリズム・エコツーリズムの推進や環境保護、景観の保全に努めます。

### 3 産業連携プロジェクト

特色ある資源を活かし、観光産業と他産業の連携強化により、産業全般の振興を図ります。

- **農林業との連携**  
農林産物や特産品のブランド化をめざし、付加価値の高い農林産物の生産や販路拡大に努めます。  
地産地消の推進、地場産物を利用した特産品、加工食品の開発、都市と農村の交流促進に取り組みます。
- **商工業との連携**  
中心市街地の活性化対策の推進、特産品の首都圏へのPRやインターネットの活用等による販路拡大に取り組みます。

## 地区別のめざすべき方向

角館・田沢湖・西木各地区の特色を十分に活かすため、それぞれの地区に期待される役割とめざすべき方向を示します。仙北市としての一体的なイメージを形成していくとともに、3地区の連携を図りながら、一体感の醸成に努めていきます。

### 角館地区

- ★ 商店街の振興や都市基盤整備等を進め、中心市街地活性化対策に取り組みます。
- ★ 武家屋敷周辺地域は、城下町としての形態を維持しつつ、その保存整備に努めます。
- ★ 白岩、雲沢、中川地域は、地域ぐるみで農業の担い手育成や特産作目の生産拡大、畜産の振興に努めます。また、他地区と連携したグリーンツーリズムや武家屋敷と農業を結びつけた体験学習をメニュー化し地域の活性化をめざします。



### 田沢湖地区

- ★ 体験学習旅行の受け入れや旅館・ホテルへの地場農産物の供給等を市全体に広めていくとともに、組織のネットワーク化を進めます。
- ★ 生保内地域では、田沢湖駅前広場を核として生保内商店街をはじめとする生保内市街地全体の活性化に努めます。
- ★ 神代地域は、農地及び農村環境の保全、農業の担い手の確保や集落営農組織の育成を進めます。
- ★ 田沢地域は、農村風景の維持に努め、玉川温泉や八幡平の玄関口としての利点を活かし、地域の活性化対策に取り組みます。



### 西木地区

- ★ 農山村風景の保全に努め、グリーンツーリズムやエコツーリズムの交流拠点としての位置づけを明確にし、こうした地域活動に取り組む人材の育成に努めます。
- ★ 定住促進対策のための雇用環境の整備や企業誘致に取り組むとともに、コミュニティ活動の活発化を促進します。
- ★ 桧木内地域及び上絵木内地域は、アクセス道路の整備や秋田内陸縦貫鉄道の活用により他地域との交流の促進を図っていきます。

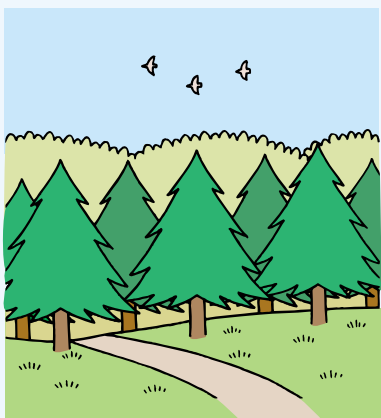


# 土 地 利 用

農地や森林の適正な保全と管理、市街地の秩序ある整備、各集落の生活環境の向上、観光拠点のネットワーク化を推進します。

## 自然環境保全地域

自然公園法等の適切な運用により、一層の自然環境の保全を図っていくとともに、恵まれた自然景観を活かし、癒しの空間として適正な利用を図ります。



## 都市計画及び居住地域

新都市計画マスタープランを作成し、緑地の確保や景観の保全等に配慮するとともに良好な都市基盤の整備に努めます。

居住地域は、均衡ある生活環境の整備を進め、農業地域との調整を図りつつ、快適で居住性の高い良質な生活空間の形成に努めます。

角館地域の重要伝統的建造物群保存地区は、引き続き周辺地域を含めた保存、整備に努めます。



## 農業地域

現況農用地は、極力その保全と有効利用を図っていくものとし、引き続き農村の生活環境の整備と併せて生産基盤の整備を進め、優良農地の確保に努めます。

担い手の確保及び集落営農組織の育成に努め、食糧の安定供給、農地と農村環境の保全など、農業・農村の持つ多面的機能の維持を図ります。



## 森林地域

水源かん養や山地災害を防止する「水土保持林」、森林とのふれあいの場となる「森林と人との共生林」、安定して木材を供給する「資源の循環利用林」の3つに区分し、それぞれの区分に応じた適切な施業管理を推進します。

保安林の観光面への活用などによる他用途への転換には、林業経営の安定に留意し、災害の発生、自然環境の保全等に十分配慮します。



## 計画達成のために 「行財政改革の推進と開かれた行政運営」

簡素で効率的な行政組織の確立をめざし、地域経営の概念を積極的に取り入れ、新たな行政手法の導入や徹底した行政のスリム化を進めます。

### 行財政改革の推進

- ★ 職員定数の削減や事務事業の見直しによる経費の削減に努めます。
- ★ 市税の的確な収納による歳入の確保に努めます。
- ★ 指定管理者制度による公の施設の管理運営など、事務事業のアウトソーシングを推進します。

### 開かれた行政運営

- ★ 市のホームページによりの確な情報公開に努めます。
- ★ 行政手続のオンライン化を進め、市民の利便性の向上に努めます。
- ★ 行政評価システムを導入します。
- ★ 市民の声を反映させるため、パブリックコメント制度を導入します。

\*\*\*\*\*

## 将来人口の予測

現在3万人余りの仙北市の人口は年々減少し、2035年には2万人を割り込み、現在の減少ペースが続くとすれば、2050年には1万2千人台にまで落ち込む推計結果が出ています。

年齢別に見ると、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）の減少が、老年人口（65歳以上）の減少を上回る結果、現在30%の高齢化率は上昇し、将来的には40%に達すると予測されています。

このため、人口減少に歯止めをかけ、定住人口の増加を図るため、本計画において、各種の施策を展開することとし、定住人口3万人の維持と交流人口1千万人を目標にまちづくりを進めます。

## まちづくりアンケート調査の結果から

調査結果を分析したところ、次のようなまちづくりの3つのポイントがうかがえます。

### ● 「自然環境・美しさ」の保全と継承

市が有する最大の資源は、恵まれた自然環境であることが共通の認識となっています。

### ● 「住む人」の安心さ

「医療」「福祉」の充実が求められています。

### ● 「交流人口の拡大」による観光産業の育成

単なる観光資源の充実のみならず、観光産業の拡大、他産業との連携を図っていくことが期待されています。



## 仙北市総合計画 概要版

編集発行

秋田県仙北市 総務部 企画政策課

TEL0187-43-1112 FAX0187-43-1300